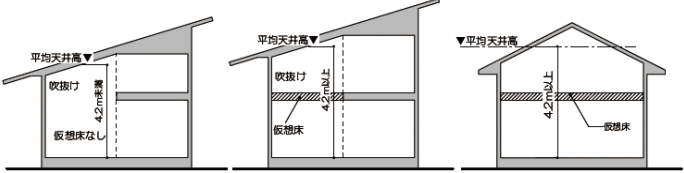


正誤表 (補足説明を含む)

20181127

	月日	ページ	箇所	現行 (誤)	訂正・加筆・補足説明
施工	2018.11.13	006~007	「3)正しい気流留めの施工」の「内部結露の発生」からの線	P007の「カビの発生」に繋がっている黄色の線	P007の「壁体内結露水の発生」に繋がる緑色の線
	2018.11.27	034	下右図	壁の石こうボードの下地材について記載がない	引き出し線にて、乾燥木材と表記する
				気密テープ	削除 (気密テープは不要です)
厚板合板				合板	
設計編 / 詳細	2018.11.13	011	1)、2) 共図の一番下	本テキスト 設計テキスト<詳細計算ルート>	設計テキスト<仕様・簡易計算ルート> 本テキスト
	2018.11.07	063	外壁の熱貫流率の表面積比率を考慮したU [*] =	0.4380 (↓切上げ)	0.4380 (↓四捨五入)
	2018.11.13	103	図	現行 (誤)	
				訂正	
	2018.11.13	069	下から2~1行目	(※)は、面積が小さいので加算しなくても構いません。	※部分は、面積の合計 (ΣA) に算入しますが、面積が小さいので上記の②の基礎壁の計算とは異なり、貫流熱損失の計算には加算しなくても構いません。
	2018.11.27	082	2行目に加筆	基礎断熱住戸とは、玄関等と浴室を除いた部分の外皮が基礎断熱の住戸をいいます。	基礎断熱住戸とは、玄関等と浴室を除いた部分の外皮が基礎断熱の住戸をいいます。(玄関等と浴室の断熱の有無は問いません)
	2018.11.13	085	(1)一般部位の熱貫流率Uの求め方	「第1部仕様ルート [2] 計算をする方法」の記載と同様です。	「第1部仕様ルート [2] 計算をする方法」の記載と同様です。ただし、仕様ルートと簡易計算ルートでは、数値の端数処理が異なります。
	2018.11.27	110	断熱仕様の表の冒頭に追記		天井、外壁、床の仕様について、断熱材以外は部位別仕様表 (告示の別表) に適合していることとします。
	2018.11.27	110	断熱仕様の表④窓Aの日射熱取得率η [-]	—	0.46 P208表3
	2018.11.27	110	断熱仕様の表の下に追記		※2 ④窓はA,Bの複数の仕様がありますので、 ・熱貫流率Uは大きい値を、 ・冷房期の日射熱取得率η _c は大きい値を、 ・暖房期の日射熱取得率η _H は小さい値を選択します。

	月日	ページ	箇所	現行 (誤)	訂正・加筆・補足説明
	2018.11.13	127	図	<p>現行 (誤)</p> 	<p>訂正</p> 